



HANDY CAD MARK II

# Lathe Application

旋盤アプリケーション

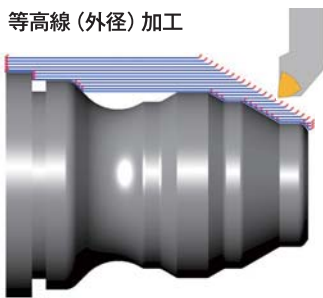
## 2軸旋盤の決定版、簡単高性能な旋盤 CAM システム

旋盤アプリケーションは、シンプルなコマンド構成となっており、使用する工具によって経路や加工方向を自動的に決定する簡単な操作を実現しています。

- ▶ プロセスツリーで工程・定義の確認が容易にでき、ツールパスによるシミュレーションが可能です。
- ▶ 定義時またはツールパスでチップおよびバイトの干渉状況を確認する事ができます。
- ▶ チップとホルダーをパラメータ入力するだけで登録でき、それらを組み合わせてバイトとして登録できます。
- ▶ 各加工定義は、使用するバイトから外径加工、内径加工、端面加工を識別し、経路の方向を決定します。
- ▶ NC 生成時に機械種別を選択して目的のデータを作成することができます。

### 加工種別とコマンド

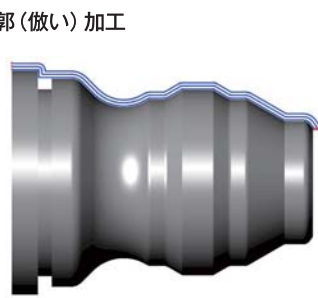
等高線 (外径) 加工



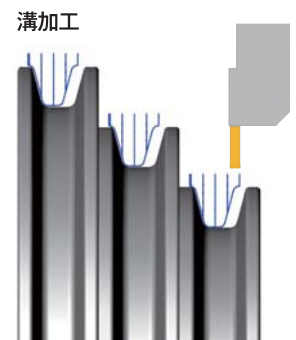
等高線 (削り残し) 加工



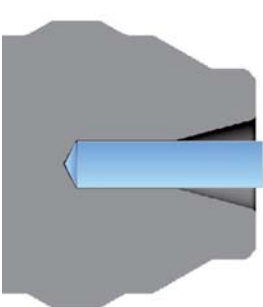
輪郭 (倣い) 加工



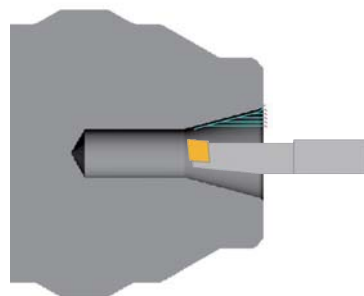
溝加工



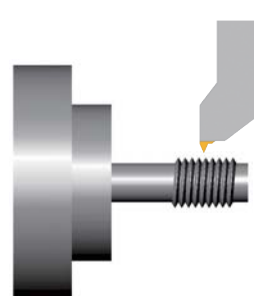
穴加工



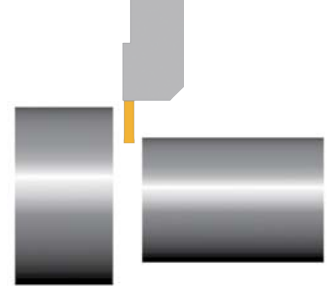
等高線 (内径) 加工



ねじ切り加工

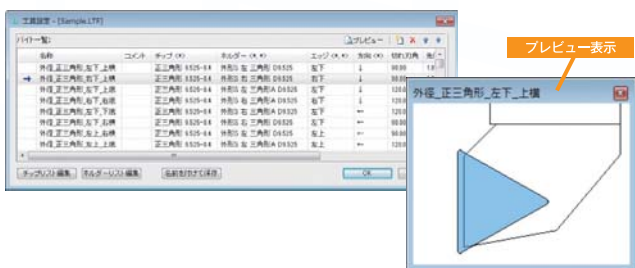


突き切り加工



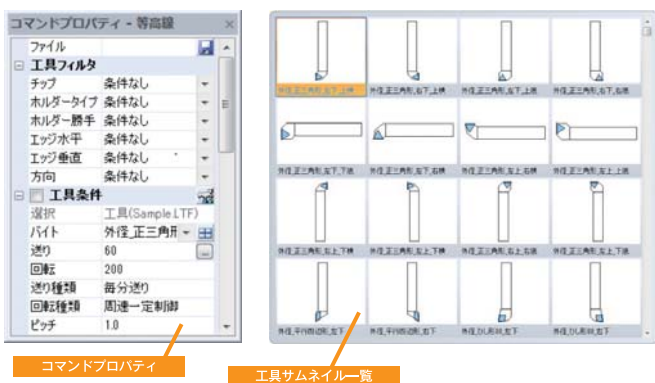
## ■工具(バイト)の登録

チップとホルダーをパラメータ入力するだけで登録でき、それらを組み合わせてバイトとして登録できます。



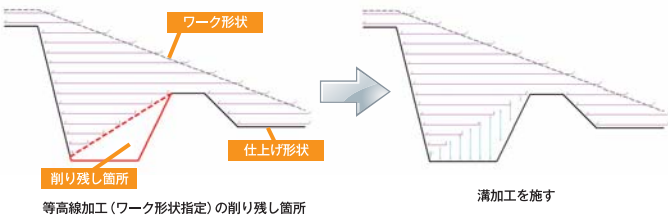
## ■工具(バイト)の選択

各加工定義コマンドでは、工具の選択、加工条件、各種設定をコマンドプロパティから行います。フィルター機能により、チップ形状、エッジ方向などの条件を絞り込んで工具選択することができます。また、サムネイル表示から選択することができます。



## ■ワーク(素材)形状の指定、削り残し箇所の検出

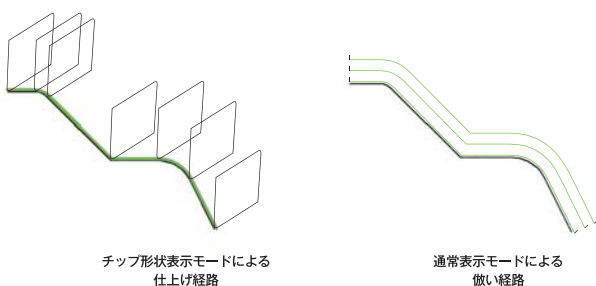
等高線、溝の荒加工では、ワーク形状を指定する事ができるので、必要な範囲だけ加工定義する事ができます。また、工具の切り込み角により生じた削り残し箇所を検出して、他のバイトで加工する事ができます。



## ■輪郭加工

形状に平行な経路を作成します。通常の仕上げ経路や、ピッチ、回数を指定した微い加工を定義する事ができます。

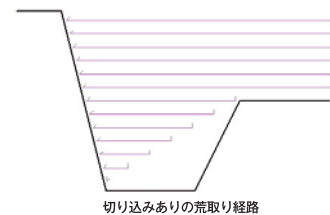
ワーク形状	指定なし	工具切り込み	なし、あり、無視から選択
径補正	径補正の指定が可能	削り残し	検出 / 定義とも可能



## ■等高線加工

等高線加工による荒取り経路を定義します。また、仕上げ代を指定して同一工具による仕上げ経路を同時に定義する事もできます。

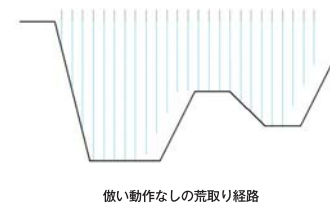
ワーク形状	指定なし
補正	径補正の指定が可能
微い動作	荒取りにおいて可能
工具切り込み	なし、あり、無視から選択
削り残し	検出 / 定義とも可能



## ■溝加工

溝チップ、丸駒チップなどのバイトで加工定義します。荒取り、仕上げの経路が定義でき、荒取りにおいて微い動作を指定する事ができます

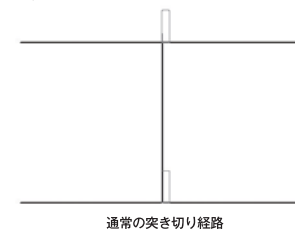
ワーク形状	指定あり
径補正	指定なし
微い動作	荒取りにおいて可能
削り残し	定義のみ可能



## ■突き切り加工

2点を指定して突き切り加工の経路が定義できます。

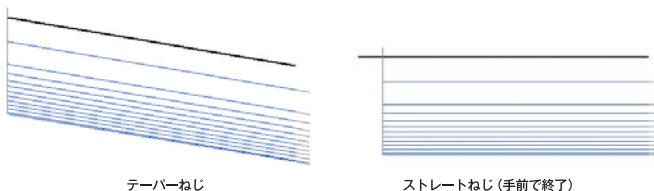
ワーク形状	指定なし
径補正	指定なし
切断	切断時の回転速度指定可
削り残し	なし



## ■ねじ切り加工

ストレート、テーバーのねじ切り加工が定義できます。ピッチリストがあり、カット回数は最大 30 まで、また自動計算機能も付いています

チャンファ	指定可能
切り込み方法	直角・片刃・千鳥から選択



## ■穴加工

センタードリル、ドリル、面取りをサイクルパターンから選択して定義します。

命令	固定サイクル、G01ドリル
----	---------------



## ●基本仕様


加工定義	輪郭、等高線、溝、突き切り、ねじ切り、穴
加工条件	材質は任意に指定可能 ねじ切りカット回数最大30
工具	チップ、ホルダー、バイトの登録本数は制限なし
補助機能	プロパティ、再定義による定義の編集が可能 削り残し箇所の検出機能
ポスト関連	Gコード、座標のモーダル管理、各種有効桁数の指定が可能 プログラム表現(絶対値・増分値)がメインプログラムに対して指定可能 円弧命令：IK指定、R指定、IK/R自動切換え ワーク座標は設定なし
検査機能	最大円弧半径オーバー、最短円弧長未満のデータを近似データに変換
マウス認識	要素/座標の同時入力 ナビゲーション、ドラッキング、ラバーバンドによる入力補助
サーチループ認識	連続要素自動認識、マスク設定による認識条件設定も可能 認識および演算に関して、要素数、ループ数共に制限無し（コンピュータ環境に依存）

※記載の社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

お申し込み・お問い合わせは

 **SYSTEM-I**  
CAD/CAM Development Company

[www.system-i.co.jp/](http://www.system-i.co.jp/)

システムアイ 

〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-3-8-5F  
TEL:06-6390-8808 / FAX:06-6390-8809